

東北情報

◆宮城県

不動産事情を紹介

不動産や建設、金融関係の専門家をつくるアセットブレインズ仙台ネットワーク(仙台市)は11月14日午後1時半から、県内の不動産事情などを紹介する「不動産ファンフォーラム」を、同市青葉区の仙台商工会議所で開く。

第一部は日本不動産研究所(東京)の専門家2人が「日本の不動産投資市場の現状と今後の展望」をテーマに講演。第二部では県復興住宅整備室の三浦俊徳室長が復興住宅の県の計画概要と整備状況を説明する。

参加無料。定員100人。11月2日までに申し込み。連絡先はネットワーク事務局の仙台アセットマネジメント研究会022(773)66885。

宮城の不動産
最新事情紹介

仙台でフォーラム

宮城県内の不動産事情などを紹介する「不動産ファンフォーラム」が14日、仙台市の仙台商工会議所であり、業界関係者ら約150人が参加した。

不動産や建設、金融の専門家らをつくるアセットブレインズ仙台ネットワーク(仙台市)が主催した。ネットワークの佐々木正之事務局長は、投資法人によるマンション、オフィスビルなどの物件取得が仙台圏を中心に増えている現状を報告。「資金の流れの活発化は、東北の経済活性化にもつながる」と説明した。

日本不動産研究所(東

東北の不動産投資の現状を紹介したフォーラム



京)の酒井康博主任専門役は「日本のインフラに対する投資市場は海外と比べ規制が多い。情報も少なく投資家にはリスクが大きい」と課題を指摘した。

東日本大震災の災害公営住宅に関しては、宮城県復興住宅整備室の三浦俊徳室長が用地取得の難航などの課題を挙げ、「民間物件の買い取りも進めながら、雇用や福祉など定住策と併せて整備しなければならぬ」と説明した。